

内閣府が発表した「令和3年度青少年インターネット利用環境実態調査」によると、青少年のインターネットの1日の平均利用時間は約4時間24分と前年度比で約1時間増加しました。

た。スマホを持つっている割合も小学生が63・3%、中学生

91・1%、高校生99・3%で前年度より増えています。利用内容は高校生が「動画を見る」「音楽を聴く」が多く、中学生は「動画を見

子供のスマホ依存が増えています

る」「ネット検索」、小学生は「ゲームをする」が最も多くなっています。スマホの利用時間が長くなったことで、スマホから手を離せなくなり、体調不良になるといった「スマホ依存」が増加

しています。しかし、依存症を治療する医療機関は少ないのが現状です。スマホ依存症にならないためには、利用者本人が利用する時間を決めて守ることです。

防犯一口メモ